

原因究明をせず社員にのみ責任を押し付ける会社姿勢に **怒**

盛岡新幹線運輸区で 見せしめ的 **日勤教育** 発生!!

■「次はない」と懲罰で脅し安全をつくるやり方は福知山線脱線事故当時のJR西日本と酷似!!

以前に事象を起こした際に、「最後だぞ。次はない」と管理者から言われ毎日緊張状態の中乗務。そして今回の事象発生後、「約束通りにやる。乗せられない、乗せない判断をしました。」とし、変形日勤が命じられました。



当時のJR西日本と同じ!?

JR西日本の日勤教育事例集(抜粋)

人間性を否定した「**責任追及**」と「**命令と服従**」の教育内容

- (停車駅通過に対して)「次はないからな」
- (停止位置誤りに対して)「今度やったら許さんぞ」
- (整備不良で1分の遅れに対して)「今度事故を起こしたら運転士を辞めるつもりで頑張ります」と決意文を提出させられた。

国交省航空・鉄道事故調査委員会の報告書には、福知山線脱線事故の原因は「事故を起こした運転士がミスによる教育を懸念しながら運転していたため、注意がそれて事故に至った可能性が高い」と結論づけ、日勤教育については、「精神的な教育に偏らず、再教育にふさわしい事故防止に効果的なものとすべき」としています。

■「**フカサワCHANNELの視聴**」「**経験を他職場でどう活かすのか**」「**決算のまとめ**」など事象の原因とは関係のない課題付与!まさしく見せしめ的教育だ!

日勤の中では、「会社の方向性を感じて自分のやりたい事とリンクして欲しい」として、2023年以降の「フカサワ CHANNEL」を視聴して感想の報告や「2022年度の決算動画」を見て、要点をまとめて他の人に知らせるものを作ることを指示されるなど、事象の原因とは全く関係のない、納得感のない課題が付与されています。

なんのための再教育なのか!!国府津運輸区での日勤教育と同じ、見せしめだ!



■「**事象をまた出してしまう可能性がある**なので乗せられない」との会社判断は**ヒューマンエラー**を認めず、**ミスの隠蔽**が発生する恐れ!



多くのヒューマンエラーは「**思い込み**」や「**勘違い**」が原因で発生します。人間はミスをする生き物であることが前提です。今回の事象で管理者は、「約束だからではなく、事象をまた出してしまう可能性がある」との理由で乗務をおろすことを本人に通告しました。まるで壊れた機械を修理することなく交換するように、労働者を「モノ」のように扱い、交換することで安全を作る会社姿勢だということです。これではミスが減るところか、懲罰に怯え、ミスを隠蔽する風土が蔓延することは明らかです。

「責任追及から原因究明」の安全哲学を壊す経営体質を許さずたたかおう!!